

沿革 | History of Museum

- 1916(大正 5)年 福岡市大名町に「私立西南学院」を設立
- 1918(大正 7)年 早良郡西新町(現福岡市早良区西新)に移転
- 1920(大正 9)年 西南学院旧本館・講堂工事着工
- 1921(大正10)年 西南学院旧本館・講堂工事竣工
- 2000(平成12)年 福岡市都市景観賞を受賞
- 2004(平成16)年 旧本館・講堂を「福岡市指定有形文化財」に指定
旧本館・講堂の補強改修工事着工
- 2005(平成17)年 旧本館・講堂の補強改修工事竣工
- 2006(平成18)年 建物の名称を「西南学院大学博物館(ドージャー記念館)」に変更
博物館開館、一般公開
- 2010(平成22)年 博物館相当施設に指定
- 2015(平成27)年 旧本館・講堂を「福岡県指定有形文化財(建造物)」に指定
- 2016(平成28)年 博物館10周年記念常設展示室リニューアルオープン

ヴォーリスと建物 | William Merrell Vories's Architecture

ウィリアム・メレル・ヴォーリス(1880-1964)は24歳でキリスト教伝道活動のため来日しました。キリスト教主義に基づく社会教育に取り組むなかで、設計者として多数の西洋建築を手がけます。各地で教会やミッションスクールなどの設計にも携わり、そのなかで西南学院の本館を設計することになりました。

本建物は、建築3階建(延べ面積980㎡、間口24m、奥行15m)、外周と内壁はイギリス積み(正確にはオランダ積み)の赤煉瓦造りです。外観は古典様式であるジョージアン・コロニアル・スタイルを基調としています。2階講堂の正面には、ゆったりとした曲線で構成されたプロセニウムアーチが施され、その下に曲線状に張り出す一段高い講壇が配されています。3階ギャラリーは、木造の床面が太い黒塗りの木製八角形の列柱に支えられており、講堂を一望することができます。

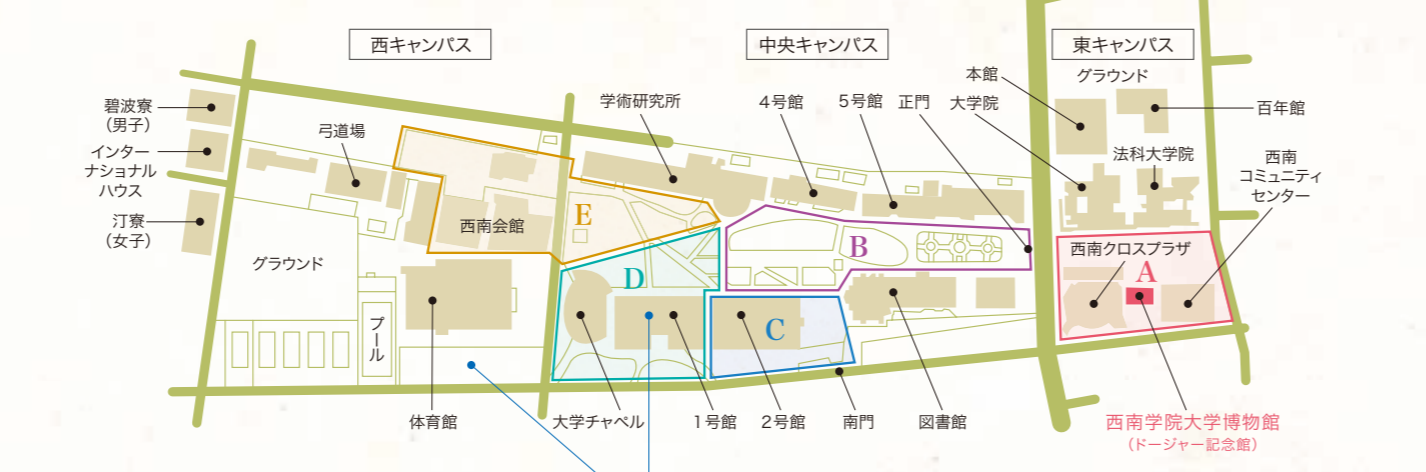


▲創設時本館(現在の博物館)



▲ウィリアム・メレル・ヴォーリス

キャンパスマップ | Seinan Gakuin University CAMPUS MAP



遺跡元寇防塁

Ruins of the Defense Walls Against Mongol Invasions
本学第1号館の新築にあたって元寇防塁の遺構が発掘されました。体育館南側などに保存されている西新地区元寇防塁と同様に2.4mの本体の両面を石積みで堅固に整え、中に粘土と砂を交互に詰めていました。さらにこの石壁の南側に約1mの間隔を置いて幅1.5m、高さ1.3mほどの粘土と砂を交互に積み重ねた土塁も発見され、この付近の元寇防塁は石壁と土塁の二列構造になっているという新たな事実が明らかとなりました。その重要性を考え、本学では元寇防塁を移築保存し、原状への復元を試みています。



聖書植物園 (A・B・C・D・E)

Biblical Botanical Garden
聖書の聖地、パレスチナ。四国程度の狭い国土とはいえ、地形や気候は変化に富み、北東の山地帯の高山植物から南の乾燥地帯の砂漠植物に至るまで2,800種類以上の多様な植物が生じます。聖書にはそのうち100種を超える植物が登場します。「西南学院大学聖書植物園」には聖書に関係する約80種の植物を集めています。ぜひキャンパスを巡り、聖書を彩る数々の植物を実際に見て触れてみてください。聖書へのより一層の親しみが感じられると思います。



アクセスマップ | ACCESS MAP



- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 福岡空港 → 西新駅下車 → 約17分 博多駅 → 西新駅下車 → 約12分 天神 → 西新駅下車 → 約8分 ※地下鉄西新駅(3番出口)から徒歩5分 | <ul style="list-style-type: none"> 博多駅バスセンター → 修験館前 → 約35分 天神 → 修験館前 → 約20分 ※修験館前バス停から徒歩5分 |
| <ul style="list-style-type: none"> 福岡空港(福岡都市高速・百道ランプ) → 大学 → 約25分 博多駅(福岡都市高速・百道ランプ) → 大学 → 約20分 天神(福岡都市高速・百道ランプ) → 大学 → 約15分 | <ul style="list-style-type: none"> タクシー 駐車場はございません。周辺の有料駐車場をご利用ください。 |

開館時間のご案内
開館時間 / 10:00~18:00 (入場は17:30まで)
休館日 / 毎週日曜日 *夏季休業 [8/10 - 8/16]
*キリスト降誕祭 [12/25]
*年末・年始 [12/28 - 1/5]

入館料 / 無料
西南学院大学博物館
〒814-8511 福岡市早良区西新3丁目13番1号
TEL.092-823-4785 FAX.092-823-4786 [博物館事務室]

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> Fukuoka Airport → Nishijin Station → 17minutes Hakata Station → Nishijin Station → 12minutes Tenjin → Nishijin Station → 8minutes *A 5-minute walk from Nishijin Station(Exit 3) | <ul style="list-style-type: none"> Hakata Station Bus Center → Shuyukan-mae bus stop → 35minutes Tenjin → Shuyukan-mae bus stop → 20minutes *A 5-minute walk from Shuyukan-mae bus stop |
| <ul style="list-style-type: none"> Fukuoka Airport (Urban Expressway/Momochi Ramp) → Seinan Gakuin University → 25minutes Hakata Station (Urban Expressway/Momochi Ramp) → Seinan Gakuin University → 20minutes Tenjin (Urban Expressway/Momochi Ramp) → Seinan Gakuin University → 15minutes | <ul style="list-style-type: none"> There is no parking at the museum. Please use the nearby toll parking. |

Open hours
Open Hours / 10:00a.m.-6:00p.m. (Entrance before 5:30p.m.)
Days Closed / Sundays *Aug. 10 - Aug. 16
*Christmas Day (Dec 25)
*Dec 28 - Jan. 5

Admission / Free
SEINAN GAKUIN UNIVERSITY MUSEUM
3-13-1 Nishijin, Sawara-ku, Fukuoka 814-8511
TEL.092-823-4785 Fax.092-823-4786

URL. www.seinan-gu.ac.jp/museum/

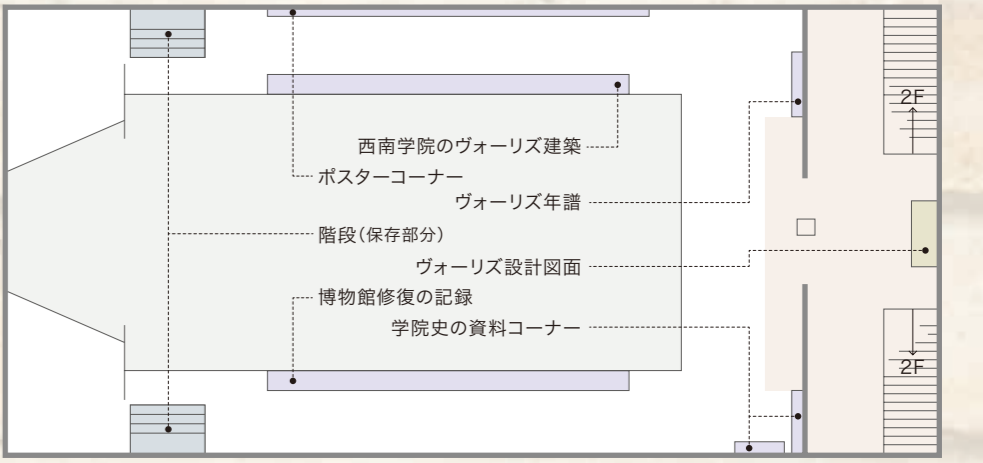
西南学院大学博物館



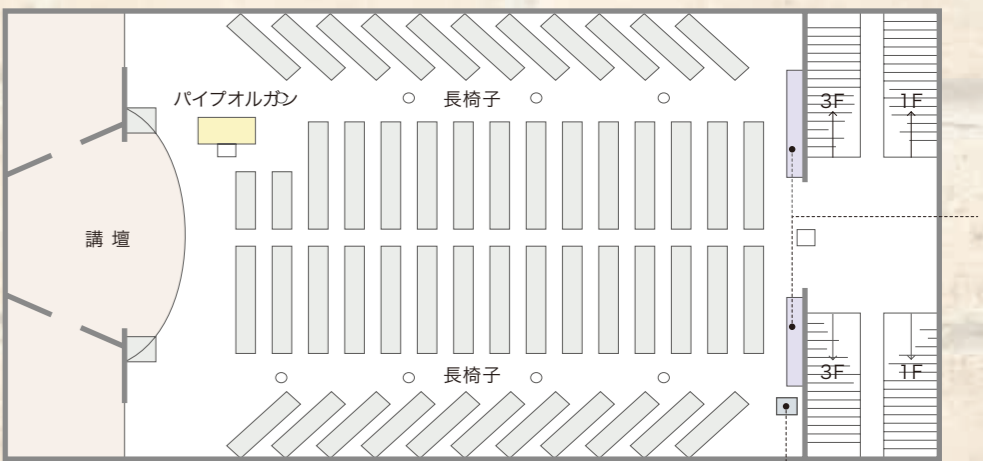
大学博物館へようこそ! Welcome to the University Museum!

西南学院はキリスト教主義に基づいた教育を行っています。キリスト教は、パレスチナの地で誕生して以来、さまざまな歴史を経験してきました。当館では、キリスト教が歩んできた道程を少しでも体感していただければと願い、キリスト教およびその文化の理解をテーマとした展覧会や教育普及活動に取り組んでいます。

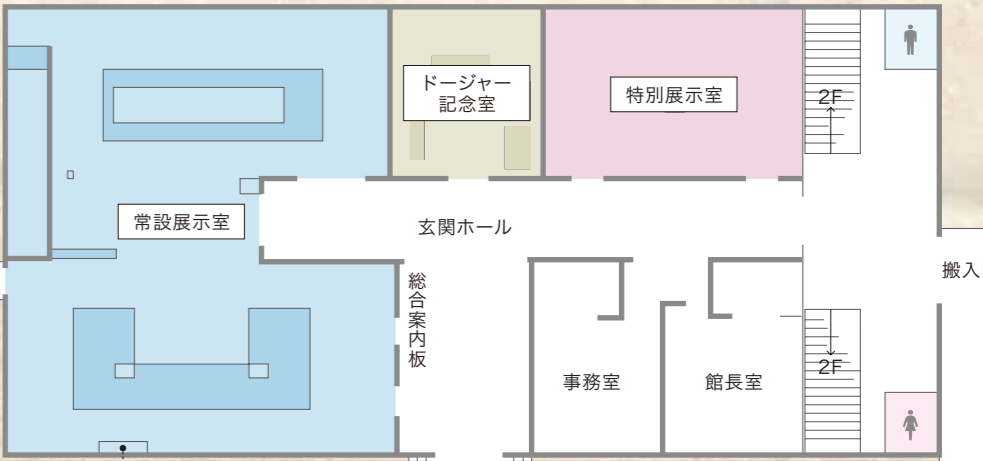
3階 ギャラリー | 3rd Floor Gallery



2階 講堂 | 2rd Floor Auditorium



1階 展示室 | 1rd Floor Exhibition Room



I 聖書の系譜とキリスト教の発展

キリスト教の母体—ユダヤ教— Judaism as the Womb of Christianity

01 キリスト教は、1世紀、ユダヤ教内部のイエス・キリストによる改革運動から出発・発展したものであり、イエスはユダヤ人(ユダヤ教徒)でした。キリスト教が経典としている聖書は、ユダヤ教の経典でもあります。ユダヤ教の儀礼のなかには、聖書を理解するために学ぶべきことが多くみられ、ここではユダヤ教の儀礼で使用される様々な祭具をご紹介します。



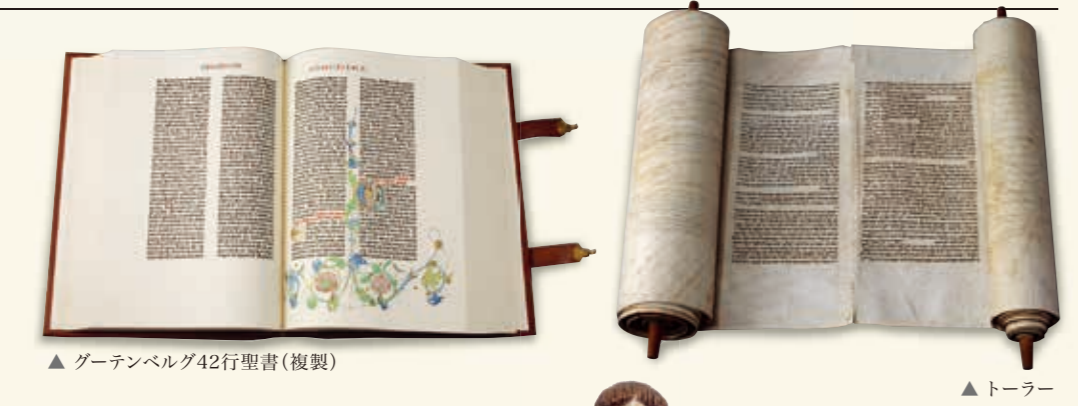
関谷定夫コレクション Collection of Prof. Sadao Sekiya

02 関谷定夫氏は、聖書考古学を専門とする西南学院大学名誉教授です。長年にわたってイスラエルを中心に古代の遺物やユダヤ教関連の資料を蒐集され、2014年に約400点にものぼるコレクションを当館に寄贈されました。



聖書の写本 Manuscripts of the Bible

03 聖書は巻物の形をとって羊皮紙やパピルスに書き写され伝承されてきました。キリスト者たちは便利さと経済性から、遅くとも紀元後2世紀頃には現在の書籍に近い冊子本写本の形を使い始めています。15世紀に活版印刷技術が発達し、より手軽に聖書が所有されるようになる一方で、豪華な装丁が施された聖書も多数制作されました。

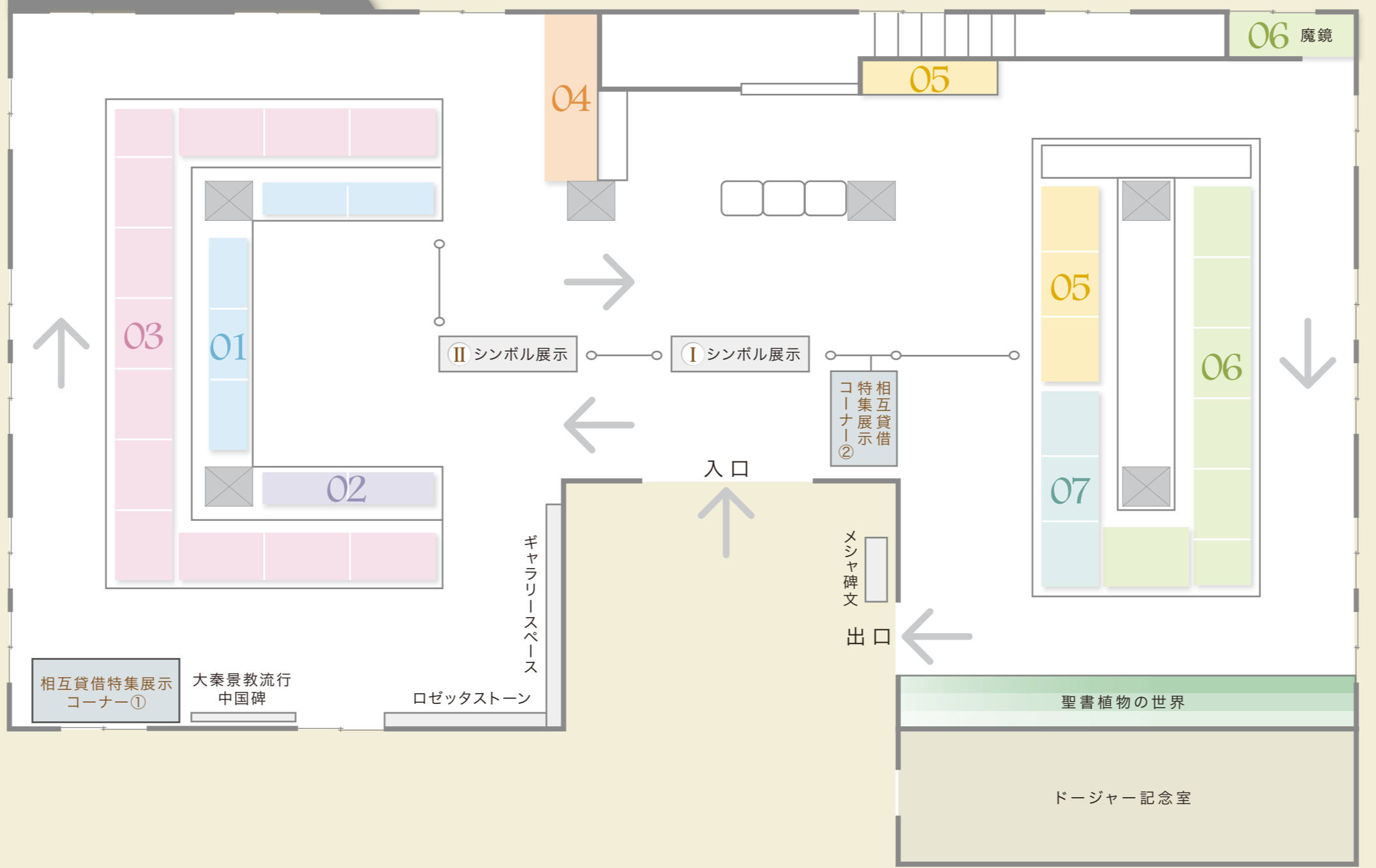


キリスト教の誕生・伝播 The Birth and Diffusion of Christianity

04 イエスの改革運動と思想は、彼の死後、弟子たちに受け継がれ、ユダヤ教の枠を越えて広く伝えられました。そのなかで、イエスをキリスト(神が選んだ「救い主」の称号)と告白するキリスト教が誕生します。初期にはローマ帝国から迫害を受けましたが、4世紀以降になると世界各地に広がっていききました。キリスト教の教えが伝播していきなから、イエスの姿を写したとされるアイコン(聖像画)などが各地で制作されています。



常設展示室マップ



聖書植物の世界 the World of Biblical Plants

「聖書植物の世界」と題した展示コーナーでは、本学キャンパスに展開している「聖書植物園」の標本を展示しています。コーナーの壁面には聖書植物園の設置経緯やコラム、そして植物園マップを掲載しています。コーナーの一角では、聖書の植物にまつわる様々なエピソードを紹介する、定期的なパネル展示を行っています。また、植物や花には見どころが存在するため、通年で植物を見られるように様々な標本を展示するよう取り組んでいます。

アンネの形見のバラ

ドージャー記念室 C.K. Dozier Memorial Room

ドージャー記念室では、西南学院創立者であるC.K.ドージャー(1879-1933)の机や、彼の一家が奏でて楽しんだピアノを始め、ドージャー使用の聖書、日記などを展示しています。ドージャーはアメリカのジョージア州で生まれ、1906年に南部バプテスト外国伝道局の宣教師として来日しました。西南学院は1916年、福岡市初の男子私立中学校として創立されました。1921年には大学の前身である高等学部、その後新制中学校、高等学校、1949年には新制大学を開設し、ドージャーの“Seinan, Be True To Christ”(西南よ、キリストに忠実なれ)という建学の精神は受け継がれています。



II 日本におけるキリスト教史

キリスト教の日本伝来 The Beginning of the History of Christianity in Japan



05 インドを中心として布教活動を始めた、イエズス会士フランシスコ・ザビエルは、マラッカで日本人ヤジロウと出会い、1549(天文18)年、鹿児島に上陸します。以降有力大名などの庇護を受けてキリスト教は各地に伝わりました。キリスト教以外にもヨーロッパからたらされた知識や文物が日本で受容され、新たな文化の創出を促しました。



モンタヌス 『東インド会社遣日使節紀行』 「地獄の熱湯(雲仙地獄での殉教)」



禁教政策 The Ban on Christianity

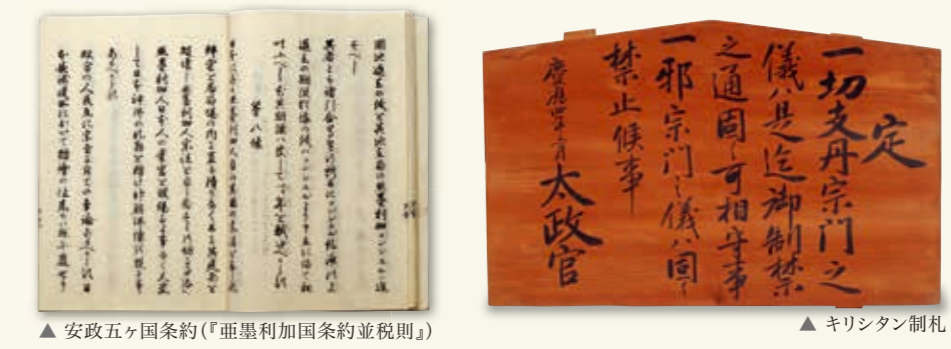
06 1587(天正15)年、豊臣秀吉が「伴天連追放令」を発令し、日本は禁教の時代へと向かっていきました。続く江戸幕府も禁教政策を断行し、信者たちは弾圧を受け、改宗を迫られました。厳しい弾圧の様子はヨーロッパにも伝えられています。そのような中、1637(寛永14)年に島原・天草一揆が勃発し、禁教・海禁政策に多大な影響を与えました。



魔鏡 Magic Mirror
一見すると普通の銅鏡のようですが、光を当ててその反射光を投影すると、鏡の背面に描かれた文様とは全く異なる、鏤形のキリストとキリストを拝む聖母マリアがあらわれます。密かにキリスト教を信仰する必要性から生まれたものであり、非常に高い技術力に裏付けられた魔鏡中の傑作といえます。

開国とキリスト教解禁 Opening of the Country and the End of the Ban on Christianity

07 安政五ヶ国条約締結により、新たな港が開かれるとともに外国人に対しては信仰を妨げないことが認められました。しかし、日本人に対しては依然としてキリスト教の信仰が禁じられており、多くの潜伏キリシタンたちが処罰される事件も起こりました。キリスト教禁止の制札が撤去されたのは、1873(明治6)年のことでした。



安政五ヶ国条約(「聖羅利加国条約並税関」)

キリシタン制札